

SSKP
はばただより
Vol. 97

編集 社会福祉法人おおぞら会 *アクティビティ*センターはばたけ

編集責任者 三浦 明雄

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9
0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

URL <http://habatake.jp/>



描く



はばたけ・サークル活動特集 その ～サークル美術～

絵を描くことは言うまでもなく表現です。ただ、その表現への思いは一人一人違います。筆を動かす感覚や色そのものを楽しむ人・心に刻まれた思い出を絵にする人・願望を絵にし、心の中で楽しむ人・さらに、願望の実現に向けたアピール(表現)にしている人・様々です。そういった一人一人の思いを受けとめられる美術でありたいと思います。

今号から、毎週金曜に行なっているサークル活動を紹介していきます。

障害者自立支援法の中で…

昨年10月に国会で採択された「障害者自立支援法」が、今年4月から一部施行され、この10月から本格実施となりました。この間の動きは、例えて言えば、陸上100mを走る選手たちの名前を走っている間に覚えなければいけない、みたいな、じつにあわたましい状況です。ですから、障がい当事者はもちろん、家族も法律の中身をほとんど知りません。

「ぼくたちは、はばたけに働きに来ているのに、なんでお金を払わなければいけないの？」 - この障がい当事者の疑問に真正面から誰ひとり答えていません。この前、同じ疑問から、愛知県のある作業所で働く障がい当事者の人たちが、利用料の支払いを拒否し、厚生労働省の方と交渉したことが報道されました。その時対応した厚労省職員は「(作業所は)福祉サービスを受けている場なので、就労とは別」と言ったそうです。「一般の人」と比べてより多くの助け(サービス)を受けなければ生きていけない障がい者は、生まれてから死ぬまでお金を払い続けなければなりません。それが「自立」につながるというわけなのです。

もうひとつ。障がいの重い人ほど人の助け(サービス)が必要です。ですから、障がいの重い人ほど多くのお金を払わなければなりません。しかし、障がいの重い人ほど自分の力で稼ぐことが困難です。だから、これまでは“ノーマライゼーション”という考え方をを使って、障がい者が、街なかで暮らしていくのに必要な人の助けは借りられるようなくみがつくられてきました。でも、この考え方もこれからは通用しません。

今、私の中では、とても消化不良の状態です。“(重度の)障がい者も働ける”ということ、“ノーマライゼーション”(=できるだけ普通に社会参加できること)という、これまで私たちが支えにしてきた考え方が十分な検討もないまま変えられているからです。

「そんなこと言っていたら、今の日本がかかえている700兆円を超える赤字は解消できない」という声が聞こえてきます。ですから、「考え方」は横に置いて、「それはそれ、これはこれ」で手を打たなければなりません。その厚生労働省の術中にはまって、今年にはばたけは職員を数名リストラしました。補助金が減って、経営していけなくなったからです。そして、正職員を減らして、アルバイトを増やしつつあります。「やればできるじゃん」という声が聞こえてきそうです。

やはりキーワードは、「お金」です。障がいをもつ利用者の人たちには、ちゃんと「お金」を払ってもらい、施設はできるだけ出費(お金)を減らさなければなりません。そういうふうにして、施設も「自立」することが求められているのです。

しかし、「自立」するって、本当は夢のあることですよね。
明日に希望をもてて初めて自立への努力もはじまります。
周りから強制されるものではありません。ですから、私たちは私たちが希望のもてる自立の道のりを描きたいと思っています。
「人生まんざら捨てたもんじゃない」と利用者も家族も職員もそして地域のみなさんも、思える瞬間を少しでも多くつくれるように、力をあわせていきたいと思っています。

(施設長 三浦 明雄)

自分らしいペースで...

グループホーム「つなぐなかまの家」

スタートして半年が過ぎました！

「これからみんなでなかよくやっていきましょう」「よろしくおねがいします」...まだ家具も揃っていないリビングであったかい鍋を囲みながら、ちょっとぎこちなくあいさつを交わした4月...

10月10日...あれからちょうど半年が過ぎました。「建物を何回も見に来て、カーテン決めたね」「あっそうそう」「半年前はみんなでご近所に挨拶まわりしたね」...夕食後のひととき、お茶を飲みながら、入居者の皆さんと振り返ってみました。

「夢だった自分の城ができて落ち着ける」「ガイドヘルパーと出かけられて嬉しい」「洗濯・調理にもチャレンジしている」「あまりもめずに皆で理解し合えたのが良かった」「いろんな職員が来てくれて楽しい」などなど...いろんな感想ができました。

一軒家での共同生活ですから当然さまざまな課題も出てきます。そんなときは夕食後の時間を使って話し合いをしてきました。そして、お互い言いたいことを話した後によく出てくる言葉が「つなぐなかまの家」。“皆で助け合っていこう”という意味でこのなまえを選んだことを思い出します。そうしてひとつひとつのことを解決しながら、ひとつ屋根の下での暮らしをみんなでつくってきました。

そして、スタート当初の忙しい時期を支えてくださった方々、宿直パートの学生の方々、ご家族の理解とご協力、地域の方々との交流、はばたけスタッフのバックアップと様々なサポートのもと、半年間を無事に過ごすことができました。ご近所の方もあたたかく見守ってくださっていて、朝出がけに、「あの人、布団干しががんばっているわね」「洗濯物、落ちそうだから気をつけて」など声をかけていただくこともあります。



じゃがいもの皮むきはまかせて！



夕食後のだんらは大切な時間です

このような毎日の中、入居者の皆さんも徐々に生活ペースをつかみ、週末はガイドヘルパーと外出される方、実家に帰ってご家族と過ごされる方、時には外出せずにのんびり過ごす方などさまざまです。“それぞれが自分らしいペースで生活できるように”という思いが、少しずつ形になってきています。

新しい制度の中で前途多難の船出。日割り計算での厳しい運営や入居者の自己負担などの問題を抱えながらもなんとか半年を乗り越えてきましたが、この10月からはさらにグループホームの位置づけが変わり、利用者の障害程度区分による運営形態の見直しや事務手続きの変更など、荒波は絶えず襲ってきます。思わぬ課題や疑問が湧起ることもありますが、ご家族の方・地域の方・はばたけの職員・そして長年の夢であったグループホームができるまで力を尽くしてくださった方々、建物を提供してくださった大家さん、皆様のあたたかい応援を背にこれからも「つなぐなかまの家」での暮らしを支えていきたいと思えます。これからの歩みもどうぞよろしくお願いいたします。

(世話人 柴田 信)

それぞれの休日を…

居宅支援事業所

サポートステーションあすは

利用が増えています！

秋を迎え、「サポートステーションあすは」もまもなく半年が経とうとしています。

10月に入り、現在、登録されている方は25名を数えるほどになりました。その多くは、はばたけの利用者の方ですが、最近では小学生～高校生、はばたけ以外の方々のご利用や問い合わせも増えてきています。ヘルプの内容は、週末の外出の付き添いがダントツです。また、通院の付き添いや学校のお迎え、プール、マラソンの付き添い等々、その内容の範囲も多岐にわたっています。

あすはの事業を始めて、居宅事業の果たす役割の意味を考え続けています。地域で暮らしていくなかで、必要とされるヘルプのあり方は利用者の方々それぞれにちがい、その意志に沿ったものをどう組み取りヘルプに反映させていくか、ヘルパー共々奮闘中の日々です。

グループ企画を始めました

そんな中、8月夏休みを皮切りにグループ企画を始めました。

ヘルパーと2人きりの外出も楽しいけれど、「仲間同士で楽しめる外出があってもいいね」と、週末や祝日にこちらで行き先を提案して仲間を募っています。

たとえば、井の頭公園や深大寺等の近隣散策から、六都科学技術館でのプラネタリウム鑑賞、モノレールに乗っての高幡不動めぐり等々、さまざまな企画をたて、仲間同士ならではの楽しさを満喫しています。また、カラオケでは、毎月、歌が大好きなメンバーが集合し、歌三昧の時間を過ごしています。

これからも、たくさんの企画をしていきたいと思っておりますので、ぜひ参加してみてください。また、「こんな企画はどう？」といったアイデアも大歓迎です。

「外出介護」の名称が 10月より変わりました

10月より、今まで「外出介護」という名称が「移動支援」に変わり、その事業の主体が国から市町村に移りました。

サービスの内容としては、「社会生活上必要不可欠な外出」や「余暇活動等社会参加のための外出」となっており、今までと変わりはありませんが、利用者負担の額(単価)や支給量の決定等は各々の市町村独自のものが提示され、自治体格差も出てきています。

国の財政が厳しい中、地域生活支援事業との名のもと「移動支援」が市町村へ移行し、今までより利用しにくくなっている状況も否めません。しかし、地域で暮らすというごく自然な「生活」を支えるための支援…。その必要性を市町村にきちんと伝え、今までのサービスが低下しないような働きかけをしていくのも、サポートステーションあすはの大切な役割と思っています。

(サービス提供責任者 内田絵理)

ヘルパー募集しています

サポートステーションあすはでは、知的障害の方々を中心に、主に外出時の付き添い等をして下さるヘルパーさんを募集しています。月に1,2回でも構いません。「やってみたい」という気持ちのある方、ぜひお気軽にご連絡ください。

サポートステーションあすは 0422-32-3287 内田まで

“就職したい”の思いを現実にも...

NPO 法人障害者ワーククラブみたかの
就労支援プログラムがはじまりました

このプログラムは、三鷹市駅前図書館からの委託作業をきっかけに、市内の就職したいという障がい者を対象としてはじまりました。

10月から週1回集まり、少しずつ仕事を覚えていっています。現在、施設の枠をこえて8名が参加しており、はばたけからも2名が参加しています。スタッフも市内施設の職員が協力しています。

プログラムの内容は？

作業実習

～ ちょっとむずかしいけど挑戦してみよう～
貸し出し用CDやカセットテープの
ラベル貼り作業
貸し出しデータのパソコン入力

ジョブガイダンス

ハローワーク三鷹での求人の探し方
履歴書の書き方や面接の受け方

ミーティング

就職についての経験交流や話し合い



ラベル貼り...速さと正確さが求められる仕事です

市内の施設からそれぞれ寄り集まったの取り組みなので、参加者もスタッフもはじめて出会う人もいて、新鮮な気持ちで望んでいます。はばたけからの参加者2人も初日は緊張しながら出発しましたが、2回目には背筋をピンと張って「行ってきます」と凛々しく向かい、戻ってくると「他の作業所の人と話ができた。もっと仲良くなりたい。仕事のことを一緒に調べたい」「作業はむずかしけど、みんなしっかりやっています」などいきいきと話してくれます。

はばたけの昼休みにも、新聞の求人広告を持ってきて見ながらお互いの就労経験を話したりと2人の関係にも変化が出てきています。

三鷹市では今年「障がい者就労支援センター」が立ち上がる予定です。支援センターとも連携をとりながら、このプログラムの参加者の中から一人でも就職につながる人が出てくればと願っています。

今回の企画には、

三鷹市駅前図書館・ハローワーク三鷹・資料マイクロ株式会社

の方たちが協力してくれています。

おおぞら会後援会ニュース

第24回はばたけ大バザール報告

9月24日(日)三鷹市立第二中学校校体育館で開催された第24回「はばたけ大バザール」は、秋晴れの快晴の下、たくさんのお客様にご来場いただき、無事盛況のうちに終わることができました。今年も多くの方に支えられ、また地域の方々のご協力のおかげで開催できたことを心より感謝いたします。協賛して下さった東京コカコーラボトリング(株)・紀の国屋フードセンター・Antendo・ホットテーブルの各企業の皆様、広報活動にご協力いただいた野崎・深大寺町会・東野商店街の商店街の方々、模擬店にご協力いただいた、ひまわり会、にじの会、ほのぼのネット・野崎西班の皆様、その他ご協力くださった全ての方に、あらためて心よりお礼申し上げます。

はばたけでは今年度から、グループホーム「つなぐなかまの家」と居宅サービス事業として「サポートステーションあすは」を新たに開設しました。これらの新規事業を軌道に乗せていくための課題は数多くあります。今後も障害のある人たちの地域生活を支援していくために、皆様のお力をご拝借しながらさらなる発展に努めていきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

おおぞら会後援会 会長 吉野寿夫

会計報告

[収入]	売上げ	514,266円	[支出]	経費	2,332円
	ほのぼのネット・売上げ寄付	41,500円		弁当飲物代	31,429円
	当日ご寄付4件	44,000円		模擬店利用券	2,250円
		599,766円			36,011円
				[収益]	563,755円

収益金563,755円は、社会福祉法人おおぞら会後援会会計に繰り入れます。

後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました。

2006年度 6/26～9/30分 (敬称略)

2006年6月26日から9月30日までの間に、個人27名の方々より、ご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。

これからも、皆様の暖かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

後援会へのご寄付ありがとうございました。(敬称略)

2006年6月26日から9月30日までの間に、個人11名の方々より、後援会へのご寄付をいただきました。ご寄付は大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。

2005年度おおぞら会後援会収支報告書 (2005/4/1～2006/3/31)				2006年度おおぞら会後援会予算書 (2006/4/1～2007/3/31)			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
項目	実績額	項目	実績額	項目	金額	項目	金額
前期繰越金	2,345,035	事務費支出	195,589	前期繰越金	2,339,940	事務費支出	213,000
会費収入	1,036,000	活動事業費	0	会費収入	1,050,000	活動事業費	0
寄付金収入	217,110	寄付金支出	2,000,000	寄付金収入	150,000	寄付金支出	2,000,000
事業収入	936,827			事業収入	795,000		
物品販売	236,634	支出計	2,195,589	物品販売	100,000	支出計	2,213,000
バザー	697,193			バザー	695,000		
雑収入	530			雑収入	100		
利息収入	27	次期繰越金	2,339,940	利息収入	50	次期繰越金	2,122,090
合計	4,535,528	合計	4,535,528	合計	4,335,090	合計	4,335,090

2006年4月20日会計監査 岡田 恭二
会計監査 渡辺み子

活動日誌 7月1日(土)～9月30日(土)まで

7月	1(土)	土曜開所	8月	19(土)	土曜開所	三鷹阿波踊り(希望者のみ)
	12(水)	保健所健診		職員会議		11(金)、25(金)
	15(土)	土曜開所 みたか寄席 調布養護学校夏祭り	9月	1(金)		防災訓練
	16(日)	三鷹商工祭り(ルーキーズ)		6(水)	旅行 スパリゾートハワイアンズ(～7日まで)	
	20(木)	ハピネスセンター館まつり		9(土)	土曜開所	
	23(日)	府中朝日養護学校夏祭り 職員会議		15(金)	理事会	
		14(金)、28(金)		23(土)	ルーテル一日神学校	
8月	5(土)	土曜開所		24(日)	はばたけ大バザール 日曜開所	
	11(金)	大掃除		27(水)	囑託医健診	
	14(月)	夏期休暇(～16(水)まで)		28(木)	歯科健診	15(金)、29(金)
				職員会議		

来訪された方々

TKC・吉田様 ミュージックボランティア協会・瀧田様、櫻井様 (株)大塚商会様
健康センター・笠原様 三鷹市地域福祉課・児島様 三鷹第五中学校様
つばさ訪問看護ステーション様 三鷹ひまわり共同作業所様 宝寿し様
府中朝日養護学校様 調布養護学校様 ルーテル学院大学様 武蔵野三鷹ケーブルテレビ様
三鷹消防署様 生活支援センターぽっぷ様

実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

ルーテル学院大学・柏原様、及川様 日本大学・大島様、井上様 東京女子大学・藤野様、金澤様、菅野様、松井様、吉枝様、岡本様、落合様 明星大学・稲田様

ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

岡村様 榛澤様 青木様 井上様 八田様 進藤様 柏原様 及川様 山崎様
佐々治様 稲吉様 後藤様 大澤様 上村様 鮫島様

Information

★自己紹介コーナー★

はばたけに新たな仲間が加わりました。皆さんよろしくお願いします！



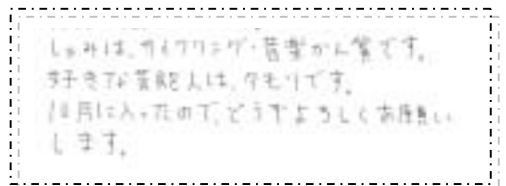
★アカマさん★

アカマさんは5月から来ています。てすき作業では、両面テープを切って封筒に張るなどの細かい作業が得意です。よろしくお願いします！



★ナオキさん★

ナオキさんは10月から来ています。ており班とクッキー班で作業を行っています。よろしくお願いします！



information

来年の干支はイノシシ!

てすきカレンダー2007

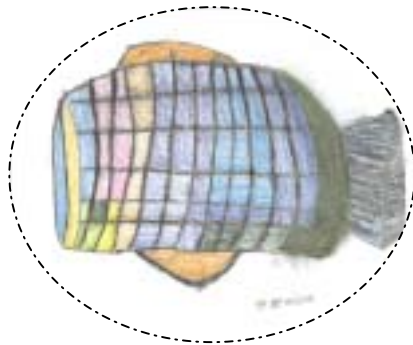


～はばたけのアーティストたちの作品が登場!～

作品例



3月



5月



10月

・ ・ ご自宅に、会社に、あなたの空間をてすきカレンダーが彩ります



《てすきカレンダー》



《かきこみカレンダー》

《料金一覧》

てすきカレンダー 板付き・・・1200円
書きこみ・・・700円

かきこみカレンダー 板付き・・・1000円
さしかえ・・・600円

★お問い合わせは・アクティビティセンターはばただまで!

TEL 0422-32-3234

FAX 0422-32-3274

[編集後記]

「～私が学んだことの一つに、困難な道を選べば自信喪失しないということがある。忙しくしていれば、そして楽観的な生き方をしていれば、あなたは信念を回復することができます～」・・・この言葉を知ってから自分の励みにしている。

はばただでの仕事を通じて多くの経験をしてきたが、周囲を巻き込む失敗に自分の到らなさを痛感することもある。でも失敗を心の糧として学んで次に活かしていくことが、同じ失敗を防いで良い仕事をしていくための最善の方法だと胸に刻んで、これからも仕事に励んでいきたい。(卜部)

発行 障害者団体定期刊行物協会		
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21		
企画・編集 アクティビティセンターはばただ		
編集責任者	三浦 明雄	頒 価
編集委員長	伊東 暁子	
編集委員	卜部 禎生	50
	深澤実希子	円